

くすのき

がっこう
7月号



ホームページはこちらから!随時更新中→

とも そだ とも そだ 友と育つ、共に育つ

ふくこうちょう すぎやま
副校長 杉山 ももこ

6月21・22日に実施された5年生の富士宿泊体験学習で、本校の今年度の遠足や宿泊体験学習が全学年、一通り無事に終わりました。いつも一緒に過ごしている友達とも、校外で長い時間を共にすることでまた、新しい発見をしたり仲が深まったりする姿が多くみられました。

5年生の宿泊体験学習では、子どもたちとともに富士山のトレッキングを楽しみました。想像していた山歩きではなく、思ったより登山。若干の高所恐怖症がある私も、斜面は苦手。歩き始めは景色を楽しむ余裕はあまりなく、子どもたちを励ましながらか、自分も必死に歩きました。列から遅れ始める子もありましたが、自分のペースで確実に歩みを進める。友達が足を止めて振り返り、後ろの子に声をかけ、元気をもらえる場面もありました。

1時間ほど歩いて宝永火口に着くと、目前に広がる赤い山肌。ちょうど雲も切れ、富士山の頂上も顔を出してくれています!みんなで写真を撮ったり、やまびこ体験したりした後、下山。前半の疲れもあり、ここからの下山が一番大変だったかもしれません。砂走を下るコースだったため、一歩踏み出しても足元が安定しない。ズルッと滑る感覚。転がるかもしれないという不安。私の周りにいた数名は、一歩踏み出すたびに声が漏れ、「もう帰りたい」という言葉も聞こえます。でも、引き返せない。先に下りている友達を見て「うらやましい」と言いながら、時にお尻をつきながらも、自分のペースで、かなりの時間をかけて、ゆっくり、ゆっくり、友達と声を掛け合いながら進みました。「あそこまで行ったら泣いちゃうかも!」そんな気持ちになるほどの、貴重な体験でした。



「大変でも、あきらめずに最後までやり遂げる」経験は、大人が「させたい」と思っても簡単にさせれることではありません。今回のトレッキングは、友達と一緒に活動だったからこそやり遂げられた、そんな経験であったのではないかと感じています。

今年の校外学習を通して、どの学年の子どもたちもそれぞれに心が成長しています。それはもしかしたら、家庭ではなかなか感じることでない成長の姿であるかもしれません。学校で、友達と過ごす中で、たくさんの人たちとの関わりの中で、子どもたちの心がこれからますますと成長していけるような場面を、これからも大切にしていきたいとおもいます。